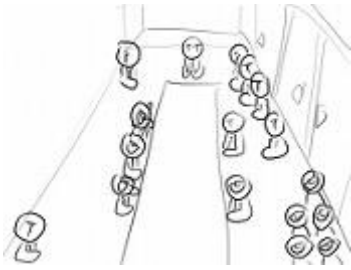

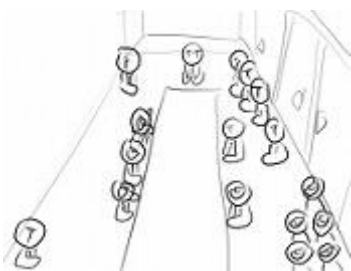
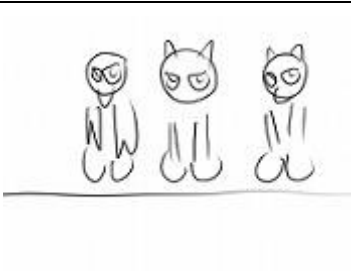
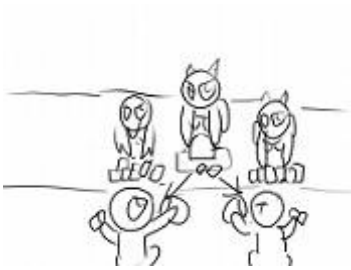


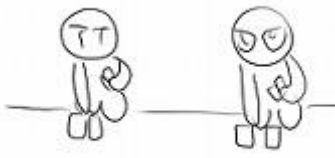





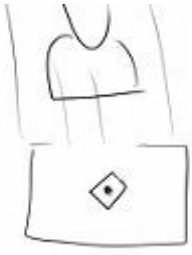
場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
1		遊戯場。 盆ごさを挟んで、鬼姫山三神が胴親、堅太郎と豊岡が張子として座している。 入間屋一家の面々と脅征会の面々が部屋の隅に控える。 上座に達次郎が座している。	
2		達次郎が一礼する。 達次郎「手前、上州甘楽地方鎮守空っ風の達次郎が、見届け役を務めさせていただきます」	
3		達次郎「勝負は運否天賦、二点張りで三回先取した方を勝ちとします。異存はありませんね？」 堅太郎「異存ありません」 豊岡「異存ねえ」 達次郎「では始めます」	
4		お凜様が一礼する。 お凜様「手前、武州総鎮守秩父鬼姫山三代目花吹雪のお凜が、胴を務めさせていただきます」	
5		お凜様「念のため、間違いのないよう道具改めをお願いします」 お凜様が、賽子、壺を堅太郎と豊岡に確認させる。 牙吉飛丸が張札を配る。	



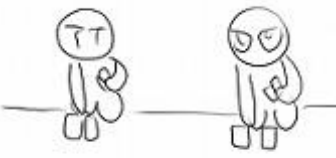
場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
6		食事処。 たけるとかんな、やすお達、子供達が、襖を少し開けて、隙間から遊戯場を覗いている。	
7		遊戯場。 お凜様「入ります」 お凜様が、賽子を壺に入れて、振り落とす。 牙吉「どうぞ」 飛丸「どうぞ」	
8		堅太郎と豊岡が札を張る。	
9		牙吉「勝負！」 飛丸「勝負！」 お凜様が壺を上げる。 賽の目は3。 牙吉「3です！」 飛丸「3です！」	
10		豊岡が3を当てている。	

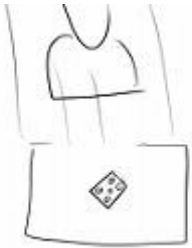


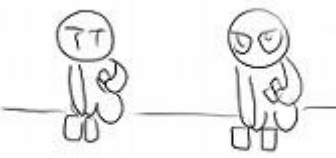

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
11		堅太郎は札を下げる。	
12		豊岡がニヤリとする。 豊岡「先にもらったぜ」 堅太郎は表情を変えない。 堅太郎「まだこれからです」	
13		お凜様「入ります」 お凜様が、賽子を壺に入れて、振り落とす。 牙吉「どうぞ」 飛丸「どうぞ」	
14		堅太郎と豊岡が札を張る。	
15		牙吉「勝負！」 飛丸「勝負！」 お凜様が壺を上げる。 賽の目は1。 牙吉「1です！」 飛丸「1です！」	

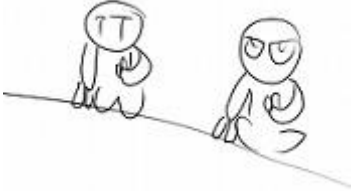



場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
16		堅太郎が1を当てている。	
17		豊岡が札を下げる。	
18		豊岡が舌打ちする。 豊岡「ついていやがる」 堅太郎は表情を変えない。	
19		お凜様「入ります」 お凜様が、賽子を壺に入れて、振り落とす。 牙吉「どうぞ」 飛丸「どうぞ」	
20		堅太郎と豊岡が札を張る。	

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
21		牙吉「勝負！」 飛丸「勝負！」 お凜様が壺を上げる。 賽の目は5。 牙吉「5です！」 飛丸「5です！」	
22		堅太郎と豊岡が札を下げる。	
23		お凜様「入ります」 お凜様が、賽子を壺に入れて、振り落とす。 牙吉「どうぞ」 飛丸「どうぞ」	
24		堅太郎と豊岡が札を張る。	
25		牙吉「勝負！」 飛丸「勝負！」 お凜様が壺を上げる。 賽の目は6。 牙吉「6です！」 飛丸「6です！」	

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
26		堅太郎と豊岡が札を下げる。	
27		お凜様「入ります」 お凜様が、賽子を壺に入れて、振り落とす。	
28		堅太郎の眼力。	
29		豊岡の眼力。	
30		牙吉「勝負！」 飛丸「勝負！」 お凜様が壺を上げる。 賽の目は2。	






場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
31		堅太郎が2を当てている。	
32		豊岡が札を下げる。	
33		お凜様「入ります」 お凜様が、賽子を壺に入れて、振り落とす。	
34		堅太郎と豊岡が札を張る。	
35		牙吉「勝負！」 飛丸「勝負！」 お凜様が壺を上げる。 賽の目は6。	

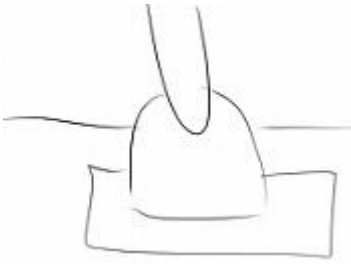




場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
36		豊岡が6を当てている。	
37		堅太郎が札を下げる。	
38		食事処。 たける「2対2だ……」 かな「どっちが勝つの……」	
39		遊戯場。 お凜様「入ります」 お凜様が、賽子を壺に入れて、振り落とす。 牙吉「どうぞ」 飛丸「どうぞ」	
40		堅太郎が札を張る。	

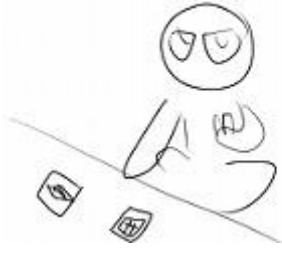

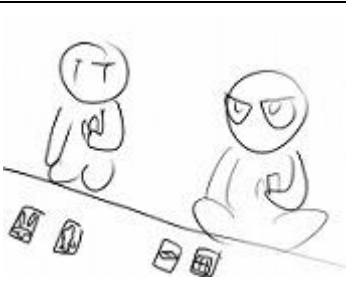


場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
41		豊岡が札を張る。	
42		堅太郎の眼。	
43		豊岡の眼。	
44		お凜様の眼。	
45		達次郎の眼。	



場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
46		牙吉「勝負！」 飛丸「勝負！」 お凜様が壺を上げようとする。 豊岡「待ちな！」	
47		達次郎「どうしなすった？」	
48		豊岡「いかさまだ！」 牙吉「姐さんを疑うのかい？」 飛丸「道具改めはしたでやんすよ？」 豊岡「音が変わったぜ。賽子をすり替えやがったろ。特定の数字しか彫られてねえはずだ」	
49		豊岡「あらかじめ話をつけといてよ、負けそうなときに賽子をすり替えて、特定の数字だけ札を張るように仕込んでたんじゃねえのか？ 負けちゃ困るもんなあ」	
50		お凜様「吐いた唾は飲めんよ」	




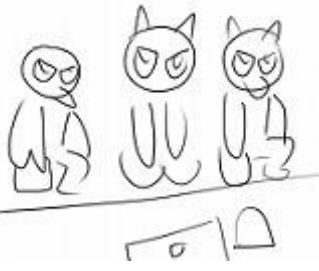
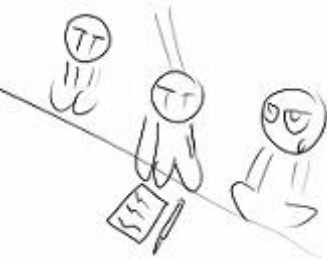
場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
51		豊岡が札を開ける。 豊岡「俺の札は1と4だ。先に札を開けてみる」	
52		堅太郎が札を開ける。 札は5と6。	
53		豊岡「連番か。怪しいな」	
54		お凜様「もし賽子に間違いがなかったらどうするつもりじゃ？」	
55		豊岡「いかさまに決まってる！ 壺を上げてみる！」	

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
56		お凜様が壺を上げる。 そこにあるのは普通の賽子で、出目は4。	
57		豊岡「なんだと……」 豊岡が狼狽える。	
58		堅太郎の無表情。	
59		達次郎「おめえさんは神聖な勝負にケチをつけた。負けだぜ」	
60		食事処。 たける「お父さんが勝った！」	

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
61		遊戯場。 豊岡「おい、出目が当たってんなら俺の勝ちだろうが！ 紛らわしい壺の振り方する方がいけねえんだ！」	
62		達次郎「ガタガタ言ってんじゃねえ！ チンピラ！」	
63		豊岡「なんだとっ！」 脅征会組員達が殺気立つ。	
64		お凜様「神をも恐れぬとはこのことか、いや、ただ愚かなだけかのう……」 牙吉と飛丸が身構える。	
65		堅太郎「脅征会の、うちの遊戯場の件からはきっぱり手を引いてもらいますよ。今後、この界限には立ち入らないよう、誓約書に記名をいただきます」 清子が誓約書と筆を盆ござに出す。	


場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
66		豊岡「誰がそんなのに同意するかよ」	
67		達次郎「おいチンピラ、おめえさんの同意なんかどうでもいいんだ。負けた以上、これは命令だ。従えねえってんなら、神への冒瀆とみなすぜ」	
68		お凜様「さっさと一筆入れんかい！」 お凜様が誓約書と筆を豊岡の目の前に持っていく。	
69		豊岡「こんなもん！」 豊岡が誓約書を筆でぐちゃぐちゃにする。 堅太郎「あっ」 お凜様「こいつ！」	
70		豊岡「ぶっ潰してやる！」 豊岡が短刀を抜いて振り回す。 お凜様「うわっ」 お凜様は跳んで間合いを取る。 堅太郎「お凜様！」 入間屋一家の面々が騒然とする。	

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
71		牙吉「野郎！」 飛丸「野郎！」 牙吉と飛丸が立ち上がって、短刀を抜こうとする。 お凜様がそれを両手で制止する。 お凜様「抜くな！」	
72		豊岡が短刀を振り回す。	
73		お凜様が短刀を避けつつ、牙吉と飛丸が豊岡を突き飛ばす。	
74		豊岡が盆ごごに転がる。 脅征会組員が短刀を抜く。 入間屋一家の若い衆が素手で構える。 緊迫。	
75		お凜様「こやつはわしに刃向けおった！ 皆は手え出さんでくれ！」 堅太郎「しかし！」 お凜様「手え出すな！」 堅太郎「はい！」	

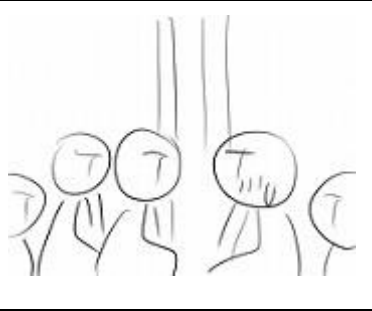
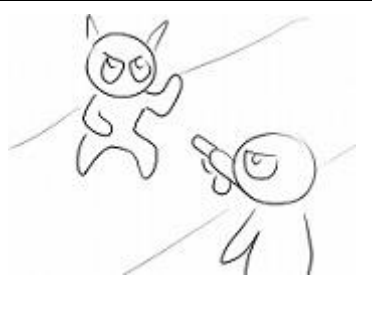
場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
76		お凜様と飛丸牙吉、達次郎が盆ござの真ん中に立つ。 入間屋一家の面々はお凜様達の後ろに控える。 殺気立つ脅征会組員。	
77		豊岡「こうなったら、力尽くで片付けてやる」 お凜様「どうしようもない奴じゃな」	
78		豊岡「やっちまえ！」 脅征会組員「うおおおお！」 脅征会組員が一斉に斬りかかってくる。	
79		お凜様達は、短刀を避けながら、脅征会組員を空拳術で対処していく。	
80		お凜様の突き、蹴り。	



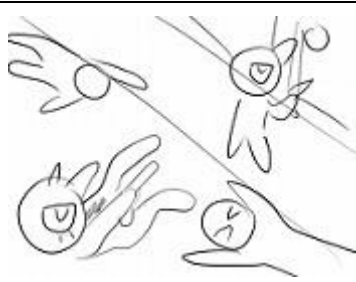
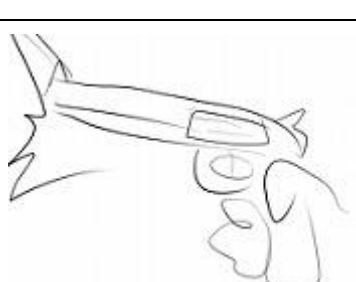

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
81		牙吉飛丸の突き、蹴り。	
82		達次郎の突き、蹴り。	
83		脅征会組員が次々と沈められていく。	
84		お凜様が豊岡をぶっ飛ばす。 転げる豊岡。	
85		豊岡「この野郎！」 豊岡が拳銃を取り出してお凜様に向ける。 堅太郎「お凜様！」 清子「お凜様！」	




場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
86		豊岡「心臓ぶち抜いてやる！」 豊岡がお凜様に迫っていく。	
87		食事処。 たける「あんなので撃たれたら……」	
88		遊戯場。 お凜様に迫る豊岡。 お凜様「愚かなことはやめろ！」 豊岡「死ねえ！」	
89		豊岡がお凜様を撃つ。 お凜様「うぐっ！」 牙吉「姐さん！」 飛丸「姐さん！」	
90		食事処。 かんな「きゃあああ！」	



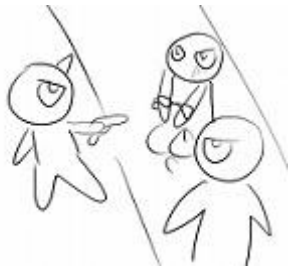

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
91		遊戯場。 堅太郎「見ていたのか！」	
92		豊岡「子供がいやだったか！」 豊岡が食事処へ続く襖を開けようとする。	
93		お凜様「やめろ！」 お凜様が拳銃を抜いて豊岡を撃とうとする。	
94		すると、お凜様が撃つ前に、誰かによる銃撃。	
95		豊岡「うぐっ」 豊岡が肩を撃たれる。	

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
96		豊岡が倒れる。	
97		お凜様「誰が撃ったっ？」	
98		いつの間にか、部屋の入口に、大口径回転式拳銃を持った刑事・東森栗人が立っている。	
99		東森「埼玉県警だ！ 邪魔するぜ！」 東森が入ってきて、豊岡に拳銃を突きつける。	
100		豊岡「おめえ、東森！」 東森「ゴキブリ共がいやがる」 豊岡「ゴキブリじゃねえ！」 東森「どの道、社会のクズだ」	


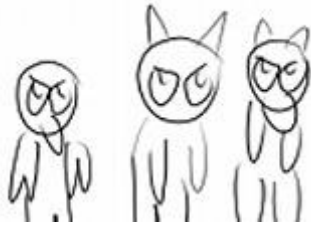



場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
101		東森「ここは俺の遊び場なんだ。ゴキブリ共の勝手にはさせねえ！ さっさと帰れ！」 東森の威嚇射撃。 脅征会組員達が逃げていく。	
102		東森が豊岡を引っ張り起こす。 豊岡「ただで済むと思うなよ？」 東森「ゴキブリが騒ぐな！」 東森が豊岡の武器を取り上げて、手錠をかける。 東森「殺人未遂・傷害の罪で現行犯逮捕だ」	
103		東森が血だらけのお凜様に駆け寄る。 東森「お嬢さん！」 お凜様「大丈夫じゃ……」 東森「胸撃たれて……」 お凜様「弾は貫通しとるけえ、撃たれたうちに入らん……」	
104		お凜様が立ち上がる。 お凜様「おぬし、刑事さんじゃな？」 東森「ええ……」 お凜様「こやつの身柄はわしに預けとくれ」 お凜様が豊岡に寄っていく。	
105		お凜様がしゃがんで豊岡に銃を突きつける。 豊岡が震える。 お凜様「きさんにゃ熊男を誘うためのおとりになつてもらう」 豊岡「熊男？ なんだそりゃ……」	

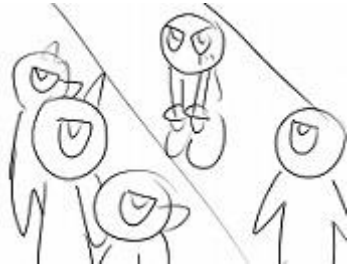

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
106		お凜様「わしの壺振りにケチつけたんと、わしを撃った落とし前は、それで済ましてやるで。嫌なら……」 お凜様が拳銃を豊岡の額に近づける。 豊岡「わかった！ わかった！」 お凜様「よし」	
107		襖が開いてたけるとかんな、きりおが入ってくる。 たける「お凜様！」 かんな「お凜様！」 きりお「お凜様！」	
108		お凜様「見てちゃいかんじゃろうに……」 たける「気になるんだもん！」 襖の向こうには、やすお達と子供達が全員。	
109		堅太郎「東森の、助かりました。でもいつの間にか？」	
110		東森「玄關の若い衆に挨拶して勝手に上がらせてもらいました」	




場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
111		東森「ところで、そちらの変な格好のお嬢さんたちは？」 堅太郎「神様です」 東森「本当に？ だから撃たれても平気なのか……」	
112		お凜様「武州総鎮守秩父鬼姫山三代目花吹雪のお凜です」 牙吉「遠吠えの牙吉ってんです」 飛丸「夜鳴きの飛丸でやんす」 お凜様達がお辞儀する。	
113		達次郎「上州甘楽地方鎮守空っ風の達次郎です」 達次郎がお辞儀する。	
114		東森「埼玉県警入間川中央署暴力団対策担当刑事の東森栗人です」 東森がお辞儀する。	
115		お凜様「熊男の襲撃に備えて草鞋を脱いどる。じゃが、別件で暴力団共と争いになってしもうた。一家を守るために協力しておくれ」	

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
116		東森「熊男ってのはなんだかわかりませんが、暴力団相手なら慣れていきます。ここは学生時代から通ってる遊び場ですので、守らなくちゃいけません。協力します」	
117		堅太郎「刑事さんがいれば心強いです」 清子「お世話になります」 東森「まだまだ未熟ですけどね」	
118		お凜様「わしゃ、こやつに用がある。みんなは戻っておくれ」 東森「それなら、私もそいつに用があります」	
119		堅太郎「私達は、食事の用意があるので、失礼します」 清子「お風呂はいつでも入れるので、どうぞ」 堅太郎と清子が部屋を出ていく。 奥富と若い衆達も出ていく。	
120		お凜様「牙吉、飛丸、子供達と風呂入って来い」 牙吉「おう」 飛丸「おう」 牙吉飛丸が子供達を連れて出ていく。	

場面：賽札勝負

番号	画面	内容・台詞	時間
121		<p>かんなだけ残っている。</p> <p>お凜様「かんなちゃん、お風呂行かんのか？」</p> <p>かんな「男の子ばかりだもん……」</p> <p>お凜様「じゃあ、後でわしと行こう」</p> <p>かんな「うん」</p>	
122		<p>お凜様「かんなちゃんには見せられんけえ、ちょっと部屋戻ってておくれ」</p> <p>お凜様の眼光が鋭い。</p>	
123		<p>かんなが出ていく。</p> <p>お凜様と、東森、豊岡だけになる。</p> <p>お凜様「ここじゃとあれじゃ。武道場に行くで」</p>	
124			
125			